

# のぞましい家庭教育のしおり

## ～家族で考える交通安全～

交通事故のニュースを新聞やテレビ、インターネットで目にします。中でも、子どもが関わっている交通事故のニュースを見ると、とても心が痛くなります。自動運転で交通事故ゼロになるのが待ち遠しいですが、現在ではそうはいきません。交通事故を起こすと、本当に悔やみきれません。もし、私の家族が不注意で交通事故にあったと考えると…。私の家でも、子どもが出かける際には、「気を付けて行きなさいね」「ヘルメットを被って」とあたりまえのことは伝えていますが、子ども自身が本当に交通安全を意識できているのか自信がありません。ある日、テレビを見ている息子に声をかけたことがあります。全く返事が返ってきませんでした。後で聞くと、「お父さんの声が聞こえなかった」と答えました。大人は、ある程度仕事をしていても周りの様子を感じ取ることができますが、子どもは何か一つのこと集中すると周りが見えなくなり、声をかけられたことにも気付かないのです。

子どもの特性を知ること、交通安全を意識させることができるのではないのでしょうか。

特性① 一つのことには注意が向くと、周りのものが目に入らなくなる。例えば、ボールを追いかけて道路に飛び出す。道路の反対側に友達がいると、周囲を確認せずに道路に飛び出す。

特性② 状況に応じた適切な判断ができにくい。例えば、信号が青になると、一目散に走り出す。手を挙げれば車は止まると思いこみ、道路を渡り出す。

特性③ 物陰で遊ぶ傾向がある。物陰から急に飛び出す。例えば、車の後ろでしゃがみ込み、夢中になって遊ぶため、運転席からは確認できない。

このような特性が子どもには見られます。この特性を理解した上で、具体的にどうすればよいのかを繰り返し教えていくことで、「自分の命は自分で守る」方法を身に付けさせていくことができると思います。また、警視庁の「子どもの交通人身事故発生状況」において、発生場所は、自宅から500m以内が多いことが報告されています。今度の週末、息子と一緒に近所を散策したり自転車で回ってみたりしながら、具体的な場所で行動の仕方を一緒に考えてみようと思います。皆さんで力を合わせ、交通事故ゼロを目指しましょう。



一人で悩まないで、まず相談を

・刈谷市 **子ども相談センター** ～子どもに関する相談の総合的な窓口～

月～土曜：9時～17時(国民の祝日・年末年始を除く)

☎：62-6313 電話相談・来室相談

・刈谷市 **青少年電話相談** ☎：23-8888 月～金曜 9時～17時

・県教育相談 **こころの電話** ☎：052-261-9671 10時～22時

